

第2回大野市社会教育委員の会議 会議録

日時：令和5年11月27日（月）午後7時～8時40分

場所：学びの里「めいりん」ランチルーム

出席者 社会教育委員7名、公民館職員5名、事務局2名

大野市教育理念唱和

1 開会あいさつ（委員長）

社会教育委員は市民と行政とのパイプ役。提言をしたり、諮問に答えたりする。

この役割を果たすためには様々な情報をインプットしてはじめてアウトプットできる。

本日は、各公民館の若手職員とのざっくばらんな懇談会にしたい。各地区の状況と奮闘についてお話をいただき、自分たちのインプットの一つにしていきたい。

2 協議事項

(1) 令和5年度主要事業実施報告

令和4年度から生涯学習推進計画に基づきさまざまな事業を実施

令和5年度は、10月末までの状況。一部11月を含んでいる。

資料1に基づき説明

(2) 若手公民館職員との懇談会

自己紹介 委員

公民館職員が、公民館勤務年数、担当業務、地区の自慢等、自己紹介を行う

大野公民館職員 3年目 団体事務 講座 人が自慢

下庄公民館職員 3年目 団体事務 講座 自分のやりたいことを実行する人が多いこと、しもプロ（青年）の活動が活発

上庄公民館職員 1年目 団体事務 講座 地域愛の強い人が多い、また、中学校統合の会議を始め行事への出席率が高い

富田公民館職員 3年目 団体事務 講座 お年寄りが元気で、家族総出で行事に参加する

和泉公民館職員 1年目 和泉自治会の事務局 紅葉、マイタケなどの食、中部縦貫自動車道が開通して便利になった

懇談会

委員長 中部縦貫自動車道開通のインパクトや和泉の変化は

和泉公民館 通勤時間が10分短縮した。紅葉祭りのあとの1週間は見たこともないくらいの渋滞で、中部縦貫自動車道が九頭竜ICまで開通した効果だと思う。

委員長 下庄地区の活動状況を教えてほしい。

下庄公民館 下庄倶楽部は基本的に壮年団体。自分たちでそば打ちを行い、紅葉まつりや新そばまつりに出店し、大盛況で、自分も手伝いで入った。

よくする会では、下庄まつりが一番大きな活動で、環境部では外来植物の駆除を、厚生部では、健康増進活動を行っている。

しもプロでは、5年前から農業体験で、サツマイモを植えている。昨年から小学生に呼びかけ、苗植え、収穫、宣伝、販売を通して農業とは何かを体験している。

- 委員長
上庄公民館
地域の祭りやイベントの様子を教えてください。
真名姫まつりは、数年前から実施されていない。
今年度から、夏祭りが再開したが、数年やっていなかったため、運営委員も苦労しながら実施した。体育大会も多くの人が参加し、集まるのは楽しいという地区の声があった
- 委員長
上庄公民館
体育大会では、昔ながらの競技をしているのか
今年度は午前中のみ開催。徒競走はオープン競技（当日参加 点数にはならない）とし、レクリエーション競技を多く取り入れた。少子化の影響で、子どもが集まらない。
- 委員長
下庄公民館
下庄地区の体育大会はレクリエーション競技のみになった。
まずは集まるという実績をつくることからアプローチした。午前中開催し、全部レクリエーション競技とし、玉入れは全部入れきった時間を競争した。
- 委員長
大野公民館
外の地域でも、祭りやイベントの状況を報告してほしい。
何年前までは「めいりん祭」を行っていたが、今は実施していない。体育大会は、これまでは分団対抗で競技性の高い大会であったが、今年からレクリエーション競技とした。
- 富田公民館
夏祭りや体育大会を実施した。夏祭りについて、以前は、午後1時から午後8時まで実施していたが、今は、小規模化を図りながら実施している。
夏祭りのお化け屋敷では、灯そう会の協力をいただき感謝する。
体育大会は、午前中開催とした。陸上競技の種目は減ってきている。
- 和泉公民館
和泉の体育大会は、今まで通り1日かけて実施している。地区住民約400人のところ約150人が参加した。地区民は開催をととても楽しみにしている。今年度は、協議がマンネリ化しないように防災運動会という災害を想定した種目を作った。
夏祭りは、県外から帰ってきた人も参加し、大盛況であった。人が集まる大事なイベントとして続けていかないといけないと思った。
- 委員
大野公民館
皆さんにお聞きしたい。地域の活動で驚いたこと。すごいと思ったことは何か。前は生涯学習課、今は地域文化課となり、変わったことはあるか。
人によって地域活動の温度差があり、頑張る人は頑張るが、そうじゃない人はそうじゃない。頑張っている人はすごいと感じた。
課が変わっても、何も変わっていないと思っている。
- 下庄公民館
下庄は史跡が多い。観光地や神社、湧水地、古墳などバラエティに富んで

- いる。これまでずっと住んでいたが気がつかなかった。
- 史跡の情報は、まちづくりなどで作成した本やカルタでまとめられており、みんなが知っている。
- 市長部局となり、よくなった部分と混乱している部分があるのかと思う。
- 上庄公民館 採用1年目であり、公民館に配属されるまで公民館の仕事を知らなかった。上庄地区の行事の裏で、地域の人がこんなに活動していることを知って驚いた。上庄に住んでいても、地域の事で知らない事が多かったことに気づいた。
- 富田公民館 地域の方は、何かあると市役所まで行かず公民館に相談に来られる。それに対応する公民館がすごいと思う。課が変わっても、生涯学習の部分は変わっていないと思う。
- 和泉公民館 和泉は地区が家族みたい。小学生の伝統芸能では、上級生が後輩を育てている。和泉ならではだと思ふ。伝統芸能も、バラエティ豊かで、昇竜太鼓、青葉の笛などがある。
- 委員長 市長部局に移っても、生涯学習の点では変わりが無い印象。
- 委員 若い人の声を聞くのが楽しみだった。自分の意見を、どんどん言って、楽しい公民館にしていきたい。
- 委員長 また、要望があったら自分たちに言ってほしい。
- 上庄公民館 上庄公民館の職員に質問するが、大野に帰ろうと思ったきっかけは何か。高校生の時に進路について考え、地域おこしに興味を持った。そのため、地域づくりを学べる大学に進学した。市職員になり、これからは学んだことを大野市に還元していきたいと考えている。
- 委員長 社会教育委員の方々にお尋ねするが、若手公民館職員の方々と懇談して、何か意見や感想はあるか。
- 委員 公民館は家族とのつながりが大きいと感じた。各公民館の職員が、地区の活性化に大きく関わっていることがわかった。公民館の活動を通じて、地域に帰ってきたいと思ってくれる子どもが育ってくれると良いなと思った
- 委員 青年団体（灯そう会）でも活動する際は、公民館でお世話になっている。
- 委員 公民館のお陰で、楽しく自由なことができていると感じている
- 委員 体育大会の時間を縮小し、午前中のみ開催するという地域が増えたが、和泉地区のように、1日開催を目指すべきではないか。今までと同じような開催は、やればできるはずである。いろんな行事を縮小では無く、拡げる、楽しむという意気込みで、地区を活性化して欲しい。
- 委員 下庄公民館職員の「地区の史跡を知らなかった」というお話から、総合学習で、もっと地域のことを、子どもたちが学ぶ機会があればよかったと気づいた。また、上庄公民館の「行事の裏側で地域の人が頑張っていることを知った」というお話から、学校もそのような視点で子どもたちを学ばせられることに気づいた。学校と公民館は切っても切れない関係であるので、頼りにしている。

委員 若手公民館職員の皆さんが非常に立派な意見を持ち、将来は明るいと感じた。また、各公民館にはいろんなカラーがあるんだと感じた。公民館報を必ずチェックしているが、注目は大野と上庄公民館である。行事やイベントについて、大野と上庄公民館は他の公民館より頭一つ出ていると思う。公民館同士の横のつながりも大切にして、全体的な底上げを頑張してほしい。

委員長 自分は、下庄クラブの会員であり、新そばまつりに参加している。行列ができるくらい人気で、作っている者は休むいとまが無く、殺伐とした感じになるが、長年ともに活動してきた仲間であるため、後には残らない。終わったあとに反省会をするのが楽しみである。なにか楽しみが無いときつい仕事がかかせない部分がある。

このような経験から、団体活動に若い人が入ってこないというが、自分たちが楽しんでいる後姿を見せないといけないと感じている。

本日は、公民館若手職員の皆さんにいろんな話を聞くことができ、私たちが気付くことも多くあった。忙しい中、参加いただき感謝する。

(3) その他

無し

3 その他

事務局 第3回の社会教育委員の会議は、2月ないしは3月に開催を予定している。

4 閉会のあいさつ（副委員長）

忙しい中、若手公民館職員の方々に参加いただき感謝する。

若手職員の方が、皆、地域の人たちのことを自慢にしていたことが印象的であった。人との関りが大きな喜びであると感じた。役に立つことがあるなら、私たち社会教育委員にも相談してほしい。

大野市生涯学習推進計画が2年目に入ってきた。0歳から子どもたち、そして青年と、人生100年時代を迎え、社会教育も大きな部分をしめるようになった。委員の皆様からご意見をいただき、今後も社会教育を推進していきたい。